

どこからひけばいいのかな？ 視点1, 5

1. 単元名 ひきざん (1年生 11月)

2. 改善の動機・意図

本時では、10をばらにする必要性を感じさせるために、10を1つのまとまりとして提示する。児童は繰り下がりのない引き算の学習で、一の位で計算することを学習しているため、本時は一見すると計算できないと感じる。そこから10をばらにすることで計算できる経験を通して、10のまとまりを使う良さを実感できると考える。さらに既習である10を「いくつといくつ」に分ける操作の有用性を感じることができると考える。

また、「13-9」の計算をする際に、数の構成を視覚的にとらえ意識させるために、位取り表を用いて操作させる。そうすることで、「繰り下がり」の計算を視覚的に理解することができ、一の位で計算できない場合は「1つ上の位から1繰り下げる」ということに気づけると考える。

3. 授業の構想

T1 今日は遊園地のチケットを持ってきたよ。← **ばらのチケット3枚と10枚が1冊の冊子になったものを提示する。**
何枚あるかな？

C1 3枚！

C2 本の中に10枚あるから全部で13枚です。

T2 もしメリーゴーランドに乗ったら3枚使うよ。
のこりは何枚になるかな？

C3 $13 - 3 = 10$ ！残りは10枚だ！

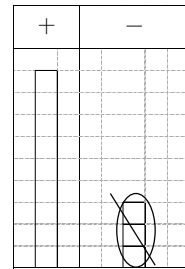
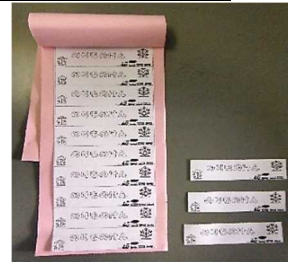
T3 そうだね。一の位から引けばよかったね。← **位取り表でブロックを動かす。**
ではもしジェットコースター(9枚)に乗るとき、
のこりは何枚になるかな？

C4 わからない。一の位の3から引けないもん。

<一の位からひけないときは>

C5 10から引けばいいよ！

T4 ブロックで動かして答えを見つけよう！



(位取り表のワークシートにブロックをのせ、動かす活動を行う)

C6 **十の位の10を両替します。**(10のまとまりをばらにする) 10から9をひいて1。1と3で答えは4です。

C7 **十の位の10はばらにしたら十の位にいられないよ。**

T5 どうすればいいかな？

C8 10を一の位にうつせばいいよ

C9 そうか！わかった！

C10 **くりあがりと逆だよ！**

T6 そうだね。十の位にある10を一の位に移すことを・・・

C11 「くりさがり」だ！わかったよ！

